

うちの社員が犯罪者に！？

情報セキュリティ研修

対象：新人～すべて

気付いたら、社員が犯罪者になっていた。あっという間に億単位の損害。そんなことが普通に起こる時代になりました。情報漏洩事故の70%以上は単純な人的ミスです。知らなかったでは済まされません。講師は実際に事故処理の経験者。大きな事故の後、企業はどのような対策をしているのか、まずは知しましょう。

データが簡単にコピーされる時代の社員の意識

大切なのは社員の意識です。

人的ミスが70%超ということは身近な心掛けだけで、致命的な事故のほとんどを防ぐことができるということです。できるだけ簡単な対策で回避することが重要です。それにはまず、知ることです。

この中に1億3,000万人分のデータ



「知りませんでした…」だけで数億円



こんな社員、おられますか？

- ▲オベミスが多い
- ▲IDカード忘れが多い
- ▲なんだか家に資料を持ち帰っている
- ▲USBメモリを常用している

→ 手遅れになる前に対策を！



それ、ホントに業務ですか？



機密、カメラで撮ってませんよね？



故意に漏らせば、犯罪です。

この研修の効果

★恐ろしさが理解できます

★防止策が分かります

★社員の意識が変わります

■主な研修カリキュラム

- ・ホントは恐い技術の進歩
- ・個人の被害
- ・企業の被害
- ・加害者に待つもの
- ・70%以上が人為的ミス！？
- ・事故を防ぐ企業の事例集

※カスタマイズにより上記は変更になる場合があります。
※2h～4hの範囲でカスタマイズいたします。

たっぷり
恐がって
いただきます。



講師：谷藤 賢一

1968年生まれ。元SE、元営業マン。

1987年大学在籍中よりベンチャー企業にてシステム開発に従事。その後、国内でも最大級と思われる情報事故に担当営業として関わった経験を持つ。客先常駐エンジニアが起こした漏洩事件によりマスコミに叩かれた企業に所属していた経験もあり、その対策に従いながら仕事をこなし、元SEの視点から対策を分析する。



〒101-0024
東京都千代田区神田和泉町1-2-6
フォンテーヌビル3F

株式会社 **C60** (シーロクマル)
<http://www.c60.co.jp>

お問合せはこちら
info@c60.co.jp